

事業名	自然公園美化推進事業費			調査番号	73
細事業名	富士の国やまなし山岳観光地美化活動事業費補助金	財務コード	435101		
担当部課室	観光部	観光資源課	観光資源担当 担当 (内線)	4302	

## I 事業の概要

実施期間	始期	H18年度	～	終期	年度
実施主体					
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	南アルプス地域(国立公園・県立自然公園)、八ヶ岳地域(国定公園)、秩父多摩甲斐地域(国立公園)	自然景観が保護されている。			山岳観光の促進
内容	国立公園等の自然公園地域が本県の代表的な観光地であることや観光の振興の観点からも自然環境を保全する必要があることから、国立公園等自然公園地域の環境美化を推進するため、市町村の美化清掃活動に対して補助を行う。 ○補助対象団体 ・南アルプス美化協議会(韮崎市、南アルプス市、北杜市、早川町) ・八ヶ岳南麓美化活動推進協議会(北杜市、八ヶ岳南麓山岳会)				

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	美化活動の参加人数	目標	1,168	1,560	1,646	1,150	1,067	869	1,095
		実績(見込)	1,560	1,646	1,150	1,067	869	1,095	
		達成率	133.6	105.5	69.9	92.8	81.4	126	
		達成区分	a	b	c	b	b	a	
成果指標	美化活動におけるゴミ収集量(t)	目標	4.5	5.6	3.2	3.1	2.8	2.3	2.7
		実績(見込)	5.6	3.2	3.1	2.8	2.3	2.7	
		達成率	124.4	57.1	96.9	90.3	82.1	117.4	
		達成区分	a	c	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		950	950	950	950	800	800	800	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	本事業は、毎年1,000人以上の参加により美化活動を実施。H30年度は制度の見直し等から参加人数が減少したものの、成果指数であるゴミ収集量も一定の成果を上げている。また、ゴミ収集量は年々減少しており、美化活動の成果であると考えている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	観光地を美しく保つことは、山岳観光への推進となることから美化活動へ助成することは、効果が期待できる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明	国立公園及び国定公園を対象とし、県内の山域を殆ど網羅しているため。		
見直しの必要性	無	事業の評価は、活動指標、成果指標ともにb(80%以上120%未満)であり、予定どおりの活動量であるとともに意図した成果をほぼ上げていることから、現時点においては見直しの必要性はない。なお、平成30年度当初予算において制度の見直し等を行っており、現在2年目である。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。